

主要地方道富山立山公園線 4車線化開通について

ふりゅう
富立大橋

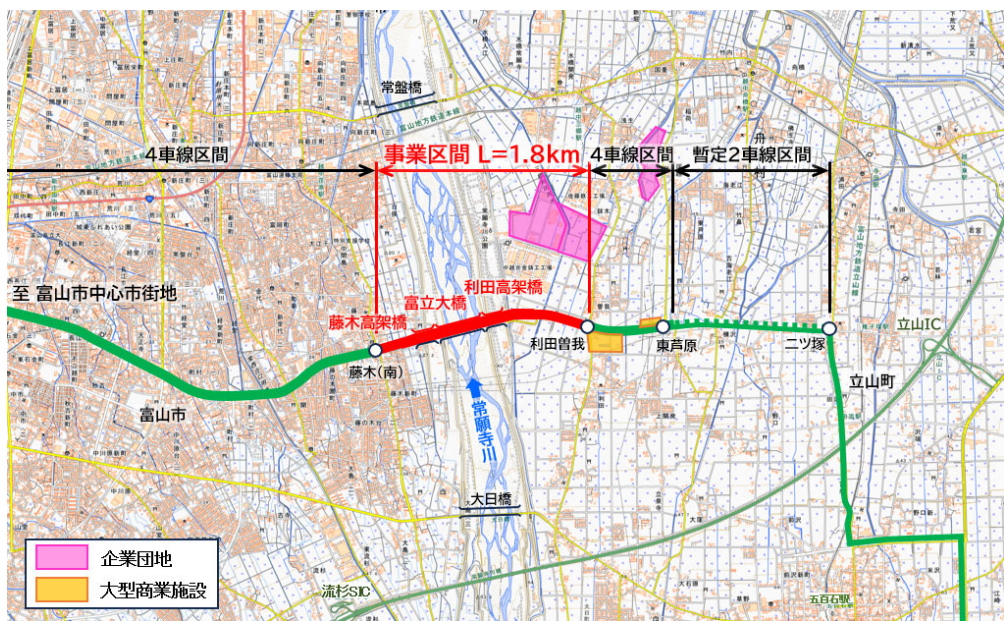
富山県 土木部 道路課

1. はじめに

主要地方道富山立山公園線は、富山市中心市街地を起点とし、中新川郡立山町の市街地を経て、立山黒部アルペンルートに至る、延長約 65km の重要な幹線道路です。

このうち、富立大橋を含む富山市藤木から立山町利田曾我までの 1.8km の区間は、一級河川常願寺川を跨ぐ橋梁の渋滞緩和や、新たな広域ネットワークの形成を目的として、平成 17 年 3 月に I 期線（暫定 2 車線）の供用を開始しました。

しかしながら、その後、沿線では大型商業施設や企業の進出が相次ぎ、I 期線の交通量は年々増加し、4 車線化の要望が高まったことから、地域全体における交通の円滑化を図ることを目的として、平成 27 年度に富立大橋を含む当該区間の 4 車線化事業に着手しました。このたび、II 期線（4 車線化）事業が概成し、令和 6 年 3 月 24 日に供用を開始しましたのでその概要を紹介します。



【図-1】事業位置図

2. 事業概要

路線名：主要地方道富山立山公園線

開通区間：富山市藤木～中新川郡立山町利田曾我

事業期間：平成 27 年度～令和 6 年度（10 年）

事業費：約 47 億円

事業延長：1.8km（橋梁区間 0.9km）

幅員：2 車線→4 車線（23.0m）

道路規格：第 3 種第 2 級

主要構造物：富立大橋 509m

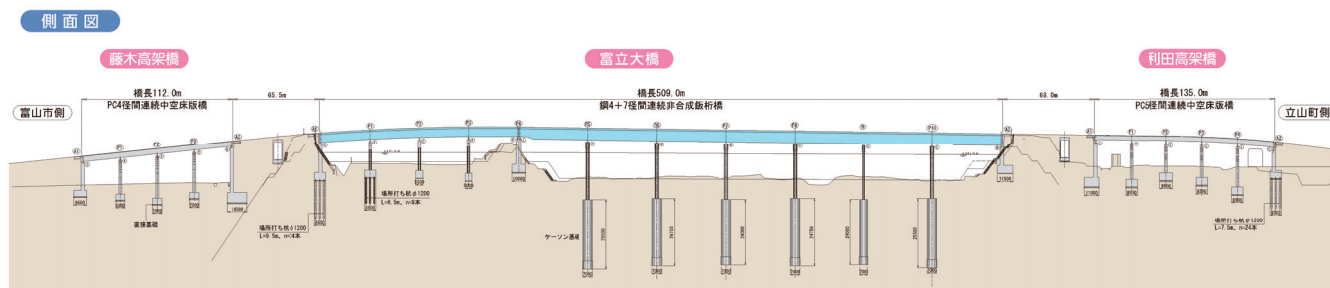
（鋼 4+7 連続非合成鈑桁橋）

藤木高架橋 112m

（PC4 径間連続中空床版橋）

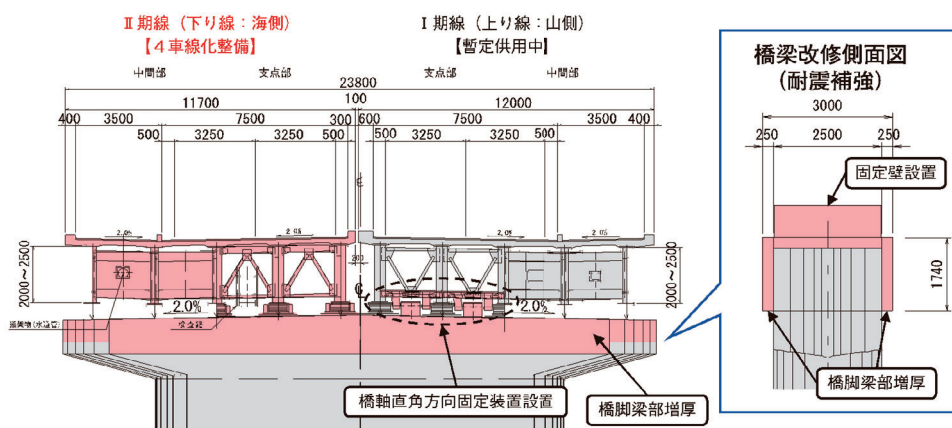
利田高架橋 135m

（PC5 径間連続中空床版橋）



【図－2】 橋梁区間側面図

橋梁断面図（富立大橋）



※ 4車線化整備にあわせて、Ⅰ期線の耐震性能を向上する補強も実施

【図－3】 橋梁断面図（富立大橋）

3. 事業の効果

(1) 地域全体の交通の円滑化

本路線は、富山市中心市街地から順次4車線化整備を進めてきており、常願寺川左岸側は、富山市藤木（南）交差点まで完成していました。また、常願寺川右岸側については、大型商業施設等の出店に伴う交通渋滞対策として利田曾我交差点から東芦原交差点まで4車線化整備が完了しており、円滑な交通処理を進めるため当該区間の4車線確保が課題となっていました。

このたびのⅡ期線の完成により、富山市中心市街地から東芦原交差点までの一連区間が4車線で供用することとなり、富立大橋の上下流に架かる2橋（大日橋、常盤橋）からの交通シフトも含め、地域全体における交通の円滑化が図られます。

(2) 沿線の産業・経済活動の活性化

本路線は、北陸自動車道立山ICと富山市中心市街地とを結び、沿線の産業・経済活動を支える幹線道路です。

立山ICから立山町利田地区までの路線は、立山舟橋都市計画区域マスタープランにおける沿道商業振興拠点として、立山IC周辺は工業・商業振興拠点に、立山町利田地区は工業振興拠点に位置付けられています。当該区間の4車線化によって企業誘致や商業施設の立地促進が図られ、雇用の拡大や豊かで活力ある地域の創出に寄与するものと期待されます。

(3) 緊急輸送道路の機能強化

I 期線は平成 8 年道路橋示方書で設計されていたことから、II 期線の設計時には平成 24 年道路示方書改訂による照査を実施し、I 期線の耐震性能を向上させる補強工事も併せて施工しました。

暫定 2 車線区間を 4 車線化することにより、災害に強い幹線道路ネットワークの機能の強化が図られることとなりました。

(4) 歩行者等の交通安全の確保

歩行者等の安全、安心な歩行空間を確保するため、II 期線においても幅員 W=3.5m の歩道を整備し両側歩道となりました。よく晴れた日、富山市側から立山町側にある常願寺公園まで、立山連峰を望みながらのウォーキングはまことに爽快です。

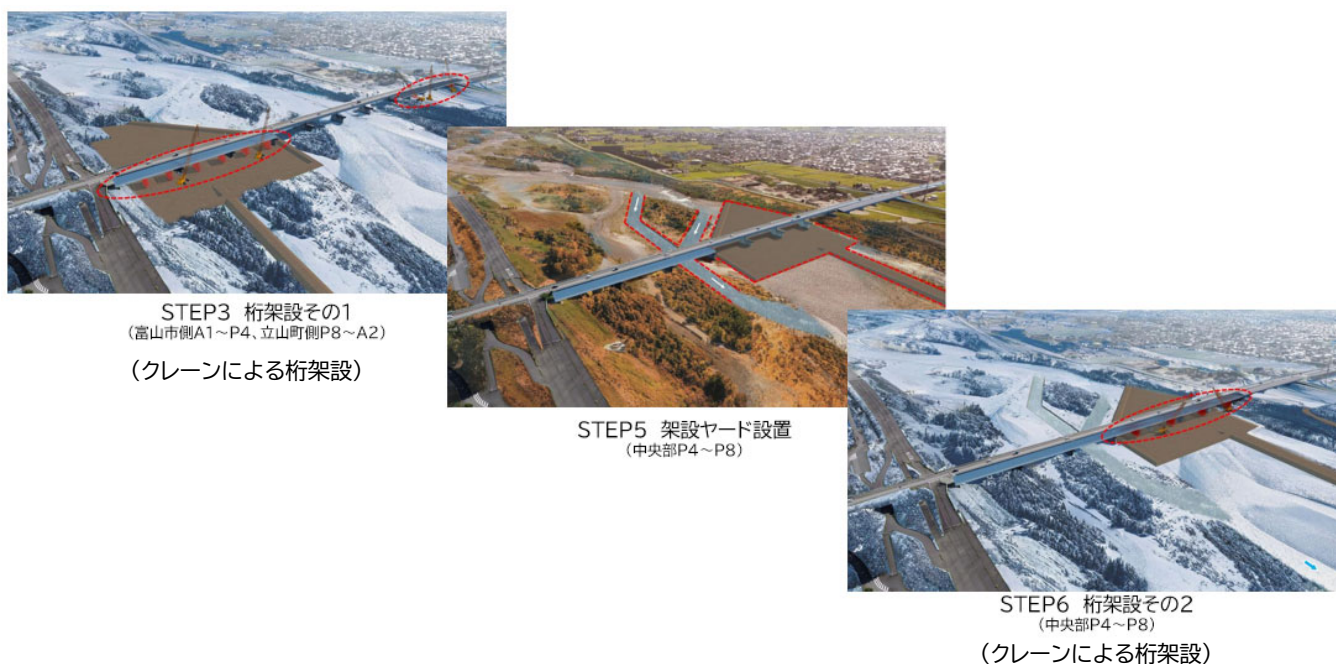
4. 工事期間中における DX とわかりやすい広報への取り組み

(1) DX

富立大橋では、計画段階から CIM (3D データ) を作成しており、それを有効活用するため DX に挑戦しました。CIM、ICT、AR (拡張現実) 等のデジタル技術を導入し、「事業の可視化」や「新たなデジタル体験の提供」に取り組みました。

関係機関との協議や地元説明会等において、これまで工事図面ではわかりにくかった施工イメージを、CIM と撮影した写真を組み合わせた「施工ステップ図」【図－4】を作成することにより、専門知識がなくても施工手順や完成形がイメージできるようになり、理解しやすい情報の提供、より正確なイメージの共有に役立てられました。

また、AR 技術を使って工事進捗の動画、画像を映し出す「見える化」【図－5】により、現場内における各作業部署間の情報共有の効率化が図られ、さらなる安全性の向上に繋げることができました。



【図－4】 施工ステップ図



【図－5】ARによる施工計画イメージ（画像）

(2) 富山県公式 YouTube への投稿

広く事業をPRするため、県の公式チャンネルを活用し事業内容や上部工架設工事の紹介動画を公開しました。

第1回は「近況報告 富立大橋上部工架設工事 vol.1」と題して、普段見ることのできない工場での橋の桁製作や、工事現場の進捗状況をまとめ、第2回は「富立大橋上部工架設工事 DX（デジタルトランスフォーメーション）& 近況報告 vol.2」と題して、工事でのDXに関する取り組みを中心に紹介し、第3回は「近況報告 富立大橋上部工架設工事 vol.3」と題して、桁運搬から架設までの状況を、タイムラプスなどを用いてわかりやすく紹介しました。現在も継続公表中なのでぜひご覧ください。



【図－6】県の公式 YouTube チャンネルでの紹介動画

5. 開通式

供用開始に先立ち、令和6年3月23日、富立大橋左岸詰において、富山立山線建設促進期成同盟会と富山県が主催となり、富立大橋4車線化の開通식을執り行いました。国会、県議会の議員の皆様方、北陸地方整備局富山河川国道事務所長、また、富山市、立山町、上市町、舟橋村の各市町村長、議会議長等多数のご来賓のご臨席を賜り、知事式辞、来賓祝辞、富山市長挨拶、富山県立山土木事務所長の工事経過報告と続き、立山町長謝辞で式典の締めくくりとなりました。

また、屋外での開通セレモニーとして、地元の県立雄山高等学校吹奏楽部の皆さんによるブラスバンド演奏で華を添えていただき、開通ムードが一気に高まったところで、テープカットとくす玉開披により富立大橋4車線化開通のお祝いをいただきました。最後に、富山県立山土木事務所の道路パトロールカーが先導する車両パレードにて渡り初めを行いました。なお、一般車については、2車線から4車線への切り替え作業を行い、翌朝6時より開放しました。



【写真－1】開通式 テープカット・くす玉開披の様子

6. おわりに

当該区間の開通に際し、ご支援、ご協力いただきました関係機関の皆様方、そして事業にご理解と多大なご協力をいただきました地元の皆様方、さらに高い技術力を持って工事を完成させた施工業者の方々に厚く御礼申し上げます。

今後とも、災害に強く、地域全体の交通の円滑化に資する主要地方道富山立山公園線の4車線化の延伸事業を進めてまいります。